

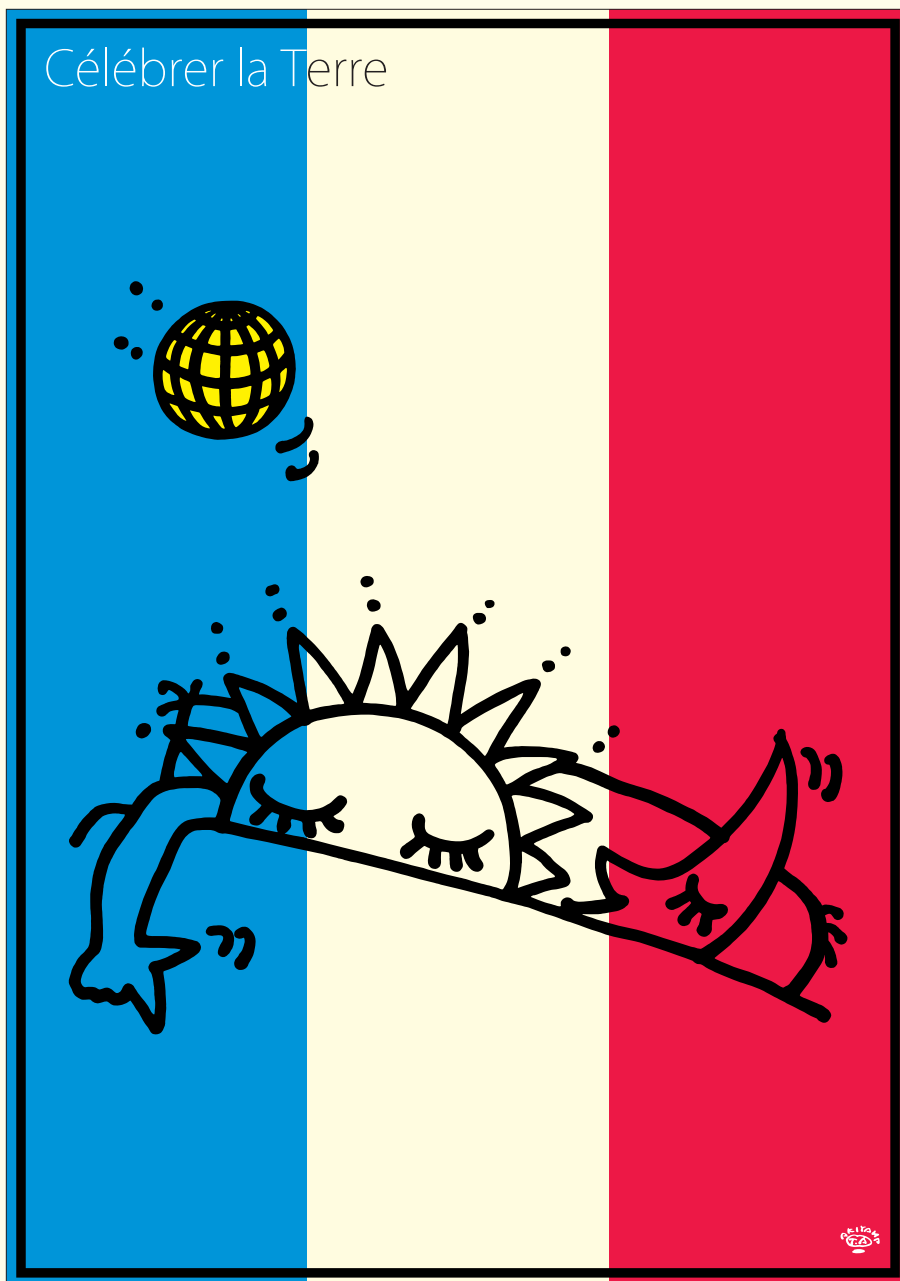


Poster-6

2015-2014

Takashi Akiyama

Célébrer la Terre



壽



ごあいさつ

秋山 孝

秋山孝ポスター美術館長岡・館長
多摩美術大学・教授

秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) は、2014年7月12日に開館5周年記念式典・祝賀会を執り行うことができた。また新作ポスター集「Takashi Akiyama Poster-6」を発行することもできた。

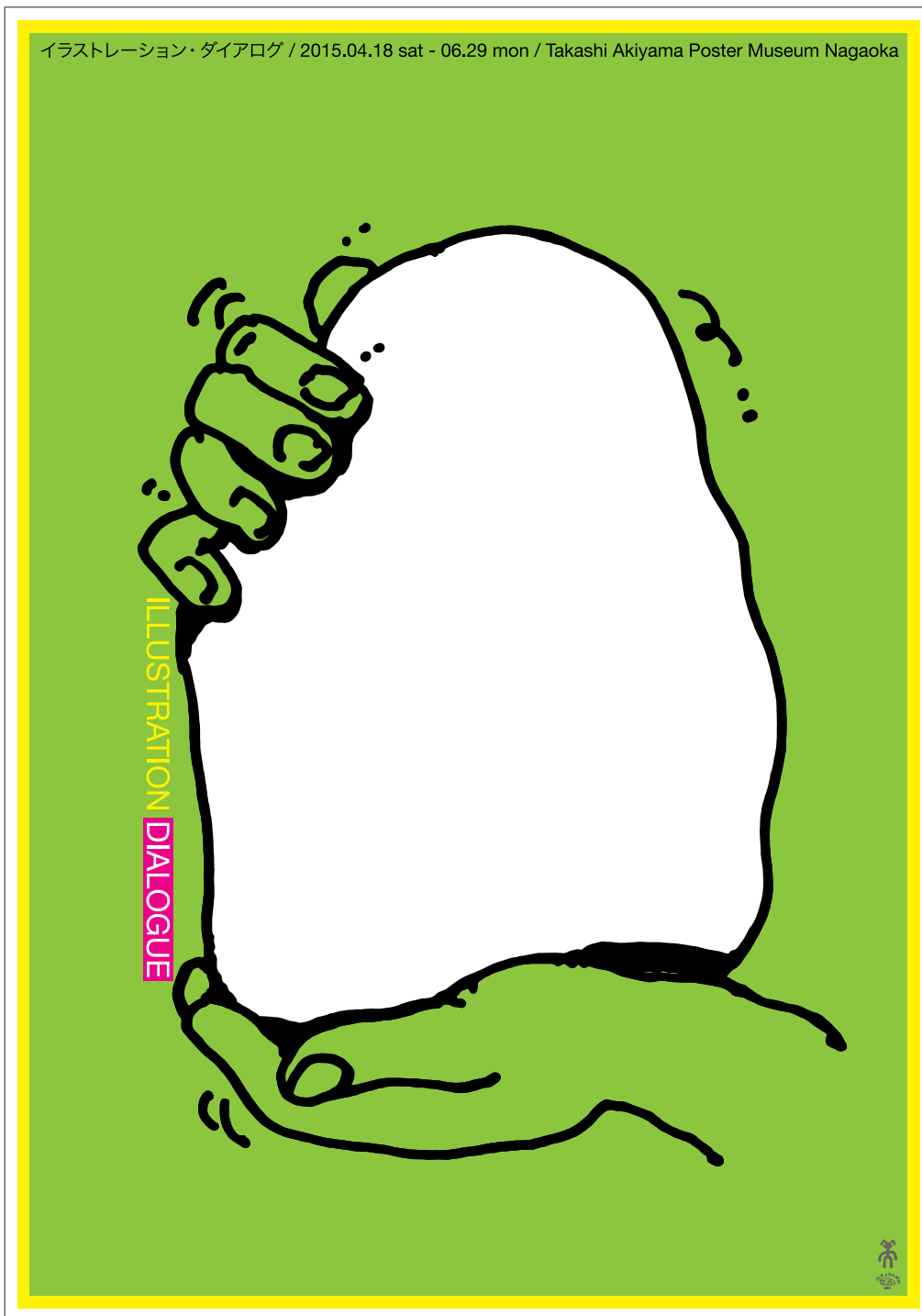
今年のポスター作品の特徴の1つは、フランスのLa Fête Du Graphisme委員会から「Célébrer la Terre (地球を祝う)」というテーマによる制作の依頼があったことだ。パリはポスターを文化のひとつとして考え、美しいポスター塔をシンボルとし、長い歴史を持って街の美観を作りあげている。2015年1月7日から3月4日までシャンゼリゼ大通りで展示されたり、シテ国際芸術会館でレセプションをはじめ、各地でポスターのイベントが開催された。依頼を受けたポスターは、太陽と月と地球を配し、フランスのシンボルカラーでデザインした。そこには擬人化された太陽と月、太陽は地球を照らす眩い天の光、月はその清らかさと美しさを表す。そこに我々の地球がある。

2つ目は、2014年9月10日から28日まで、チェンマイ大学美術館で開催された「Takashi Akiyama in Chiang Mai」展のためのポスターだ。前回は2009年バンコクのタイランド・ノウレッジセンターで「Takashi Akiyama in Bangkok」だった。タイは第二次世界大戦の時期を除いて戦前・戦後のパリで活動した日本の初期を代表するポスターデザイナー、ムネ・サトミが長く滞在し、創作活動を行った場所でもある。チェンマイは、タイ第2の都市であり「北方のバラ」とも称される美しい古都である。ポスターは、イーペン祭りのコムローイ(熱気球)を空にあげるロマンティックな儀式があり、そこに神である象がポスター塔を抱えて登場する姿をデザインした。

3つ目は、メキシコ国際ポスタービエンナーレ組織委員会の委員長、ハビエル・ベルムデス(Xavier Bermudez)から依頼を受け、25周年記念「第13回メキシコ国際ポスタービエンナーレ」のポスターを制作した。ぼくは、1992年、第2回ビエンナーレで栄誉賞を受賞してから現在まで長い付き合いをしている。そのおかげでメキシコに出かけることが多く個展、審査員や講演などを行って来た。メキシコの友人たちと親交を深め芸術や文化に触れラテンアメリカの虜になった。今回のポスターデザインは、メキシコ、ラテンアメリカのセンスと色彩を遺憾なく発揮することができたと信じている。祖先のガイコツを身近に飾る習慣を持つ死者の祭りをデザインの中に取り入れた。おおらかさがメキシコを現している。

最後は、2014年6月28日から8月3日の間、ふなばしアンデルセン公園こども美術館で開催された「秋山孝 in ふなばし 展」だ。1987年11月に船橋市北部に「ワンバク王国」が開園してからアンデルセン公園、海浜公園などの施設の情報発信としてパンフレット、ポスター、小冊子、チラシ、グッズ、カタログなどを制作し続けてきた。その全貌をデザインという視点から俯瞰する展覧会だ。コンセプトは子供の成長に必要な「創造的遊び」「安定した家族」「安心、安全な場(施設)」「心豊かになる自然」を提供する公益財団法人船橋市公園協会のデザインだ。これらはぼくにとって一貫した社会貢献デザインといっても過言ではない。告知ポスターデザインは、アンデルセンの肖像を描いたものだ。天才の口元からささやかれる声「無上のよろこび」の吹き出しを現している。

4点のポスター作品の特徴は、国際的なビジュアルコミュニケーション力を持っていることだ。どこでも展示でき、内容が理解しやすく簡潔なメッセージを持ち、人々の心を開く力がある。ぜひご覧ください。



[Title] ----- 「イラストレーション・ダイアログ」展
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2015
 [Client] ----- 秋山孝ポスター美術館長岡 (APM)
 [Category] ----- Culture

[Idea] ----- 「イラストレーション・ダイアログ」展 6年間の試みは、2015年4月18日から6月29日まで秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) で開催される第19回目の企画展だ。展覧会は、もともと高橋康平の企画「イラストレーション対話展」で、2009年4月24日に第1回「シルエット展」を渋谷区神宮前にあるPATER'S Shop and Galleryにおいて開催し、継続的に毎年行なっている。この継続を俯瞰し、6年間の展覧会成果を検証するものである。ポスターデザインは、対話 (ダイアログ) と題した展覧会の特徴を表すために、対峙する両手を使った。そこには想像を越えた出会いがあったり、新たな概念を生み出そうとするイメージをシンボリックに表した。」



draw

draw

draw

tama art university 2015
illustration studies



[Title] ----- 多摩美術大学大学院グラフィックデザイン研究領域
イラストレーションスタディーズ修了制作展
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2015
[Client] ----- 多摩美術大学イラストレーションスタディーズ
[Category] ----- Education

[Idea] ----- 多摩美術大学大学院イラストレーション研究グループは、2004年から「イラストレーションスタディーズ修了制作展」を12年間継続的に開催している。2011年より南青山にあるGallery5610が会場となっている。この発表は、イラストレーション世界における各専門的な切り口で表現と研究を追求した成果である。この成果は今後、将来に向けての各自の指針となりうる。展覧会告知ポスターデザインは、「draw draw draw」(描け、描け、描け)という表現者の基本のひとつをテーマとして表現した。それは、スケッチやデッサンで考えを発見するのに必要なものだ。ぼくたちはいつも、小さなスケッチブックから大きな力を見いだしている。

think

think

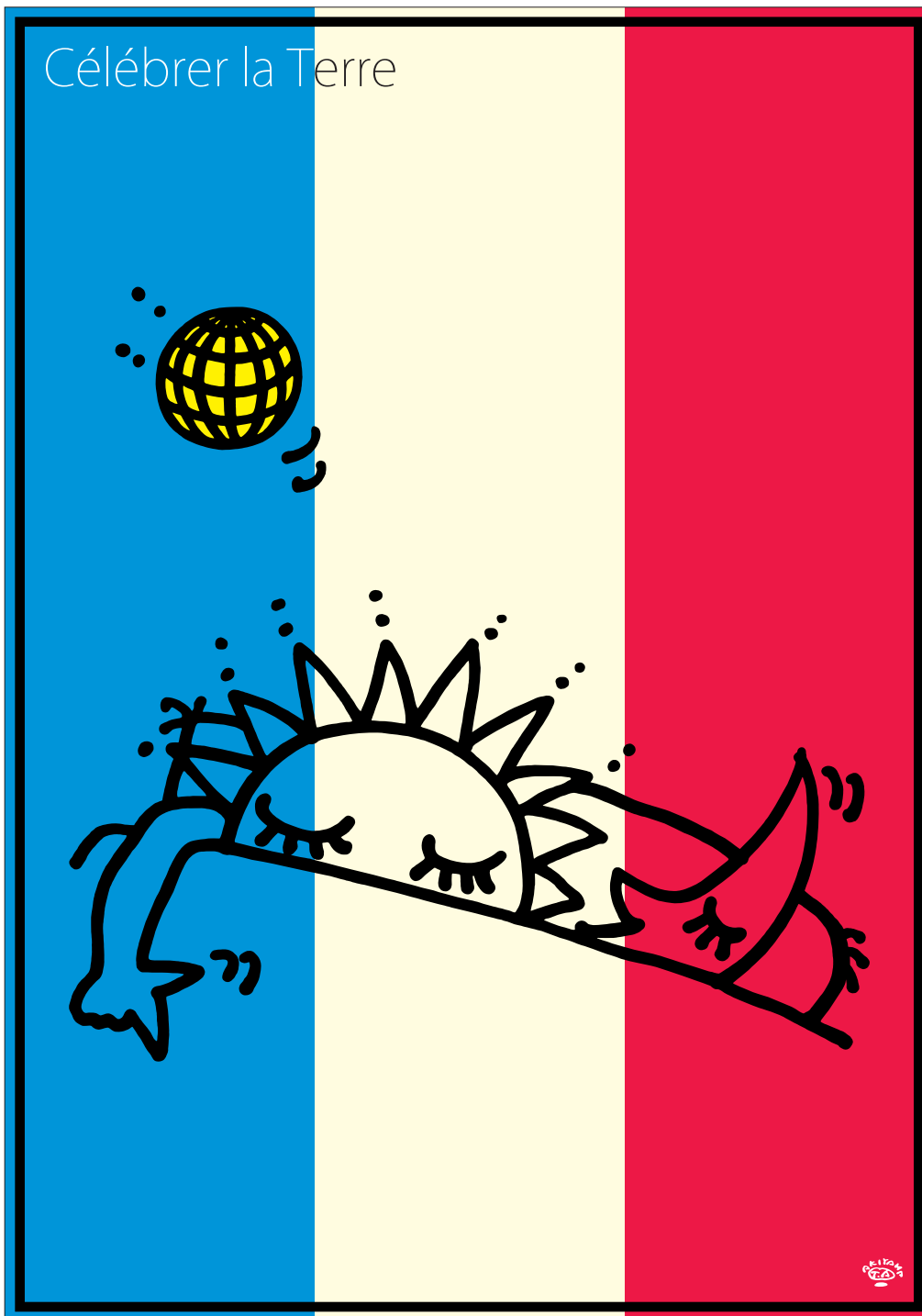
think

tama art university 2015
illustration studies



[Title] ----- 多摩美術大学大学院グラフィックデザイン研究領域
イラストレーションスタディーズ修了制作展
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2015
[Client] ----- 多摩美術大学イラストレーションスタディーズ
[Category] ----- Education

[Idea] ----- 多摩美術大学大学院イラストレーション研究グループは、2004年から「イラストレーションスタディーズ修了制作展」を12年間継続的に開催している。2011年より南青山にあるGallery5610が会場となっている。この発表は、イラストレーション世界における各専門的な切り口で表現と研究を追求した成果である。この成果は今後、将来に向けての各自の指針となりうる。ポスターデザインは、2点シリーズだ。ひとつは「draw draw draw」、もうひとつは「think think think」(考えろ、考えろ、考えろ)だ。ぼくたちは、この2つの手法でアイデアを発見したり、メッセージのビジュアルを作り上げている。じつと腕組みをして、思考している姿を描いた。



[Title] ----- Célébrer la Terre(地球を祝う)
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2015
[Client] ----- La Fête Du Graphisme Organization
[Category] ----- Culture

[Idea] ----- パリ市などがスポンサーになっているLa Fête Du Graphisme委員会からポスターのデザイン依頼があった。パリはポスターを文化のひとつとして考え、美しいポスター塔をシンボルとし、長い歴史を持って街の美観を作りあげている。2015年1月7日から3月4日までシャンゼリゼ大通りで展示されたり、シテ国際芸術会館でレセプションをはじめ、各地でポスターのイベントが開催された。今回のテーマは「Célébrer la Terre(地球を祝う)」である。依頼を受けたポスターは、太陽と月と地球を配し、フランスのシンボルカラーでデザインした。そこには擬人化された太陽と月、太陽は地球を照らす眩い天の光、月はその清らかさと美しさを表す。そこに我々の地球がある。

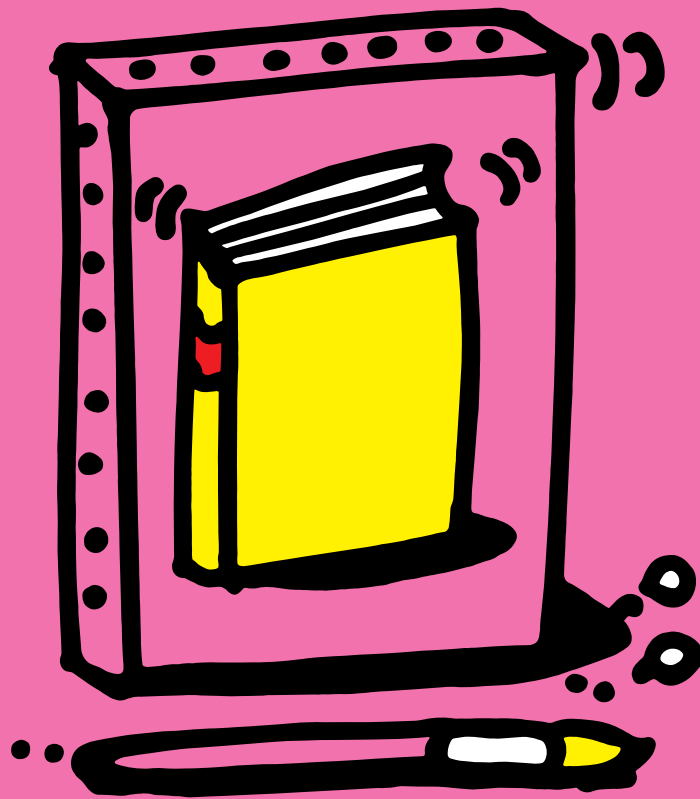
The Japan Book Design Award 2015

日本ブックデザイン賞2015

作品募集 | 応募期間
5/11(月)～5/18(月)必着

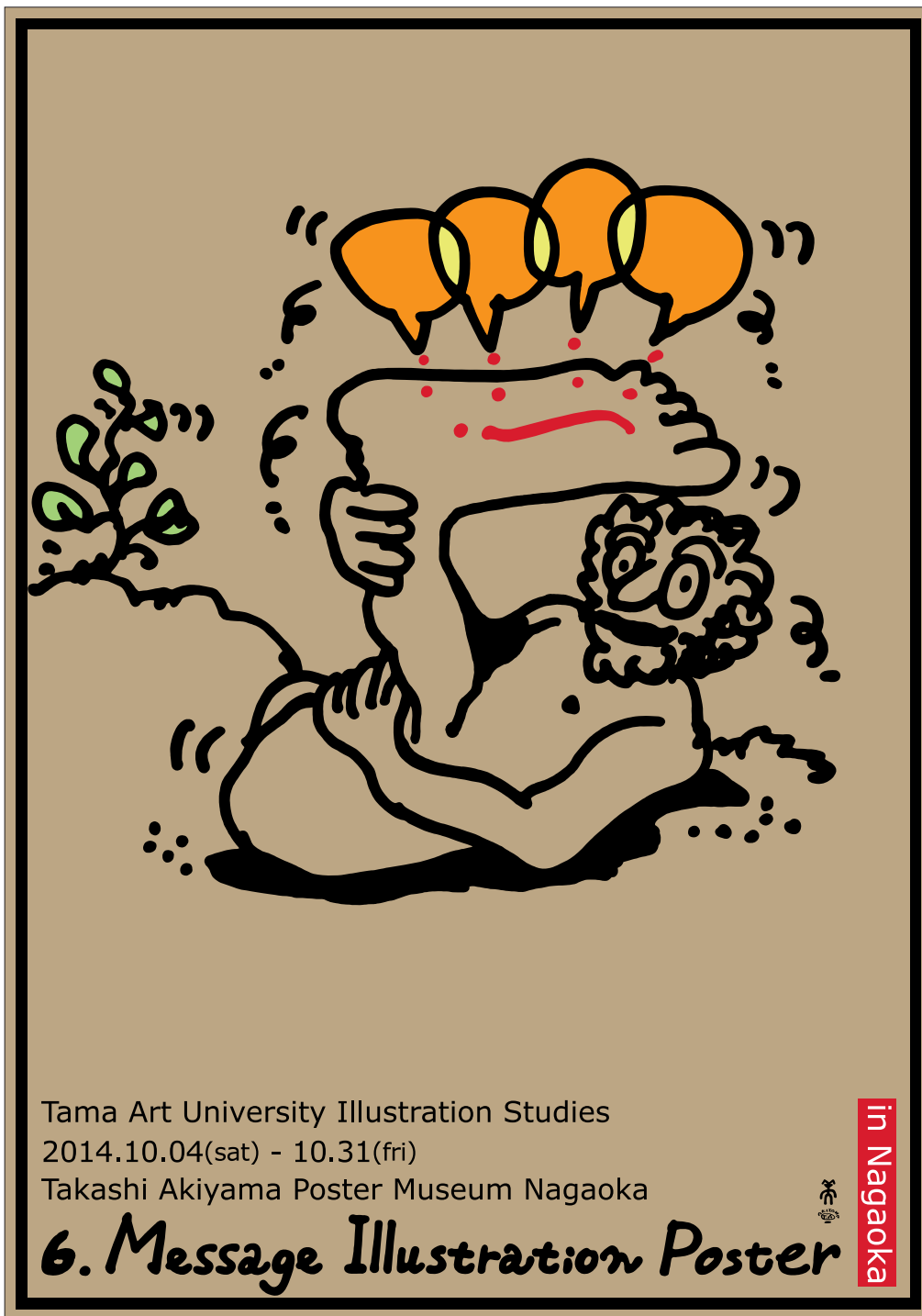
www.apm-nagaoka.com/bookdesign/

主催：秋山孝ポスター美術館長岡 (APM)



[Title] ----- 日本ブックデザイン賞2015
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2015
[Client] ----- 秋山孝ポスター美術館長岡 (APM)
[Category] ----- Culture

[Idea] ----- 秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) は、日本ブックデザイン賞を設立した。電子ブックの登場した今だからこそ、装丁の美、装画の力を見直し、再認識しなければならないと考えてる。実物の本がもっている実在感に私たちの心を豊かにする普遍的な力を持っているのだ。そこに必要なのは、上質な文字、イラストレーション、デザインだ。それらは、著者が執筆した内容をあざやかに読者に伝えてくれる。私たちは、装丁と装画の価値の高さを認識し、日本ブックデザイン賞を誇りを持っておこなうべき社会への提案だと考える。ポスターデザインは、創造したブックデザインをキャンバスに描いたイメージだ。それが後に実体となる。



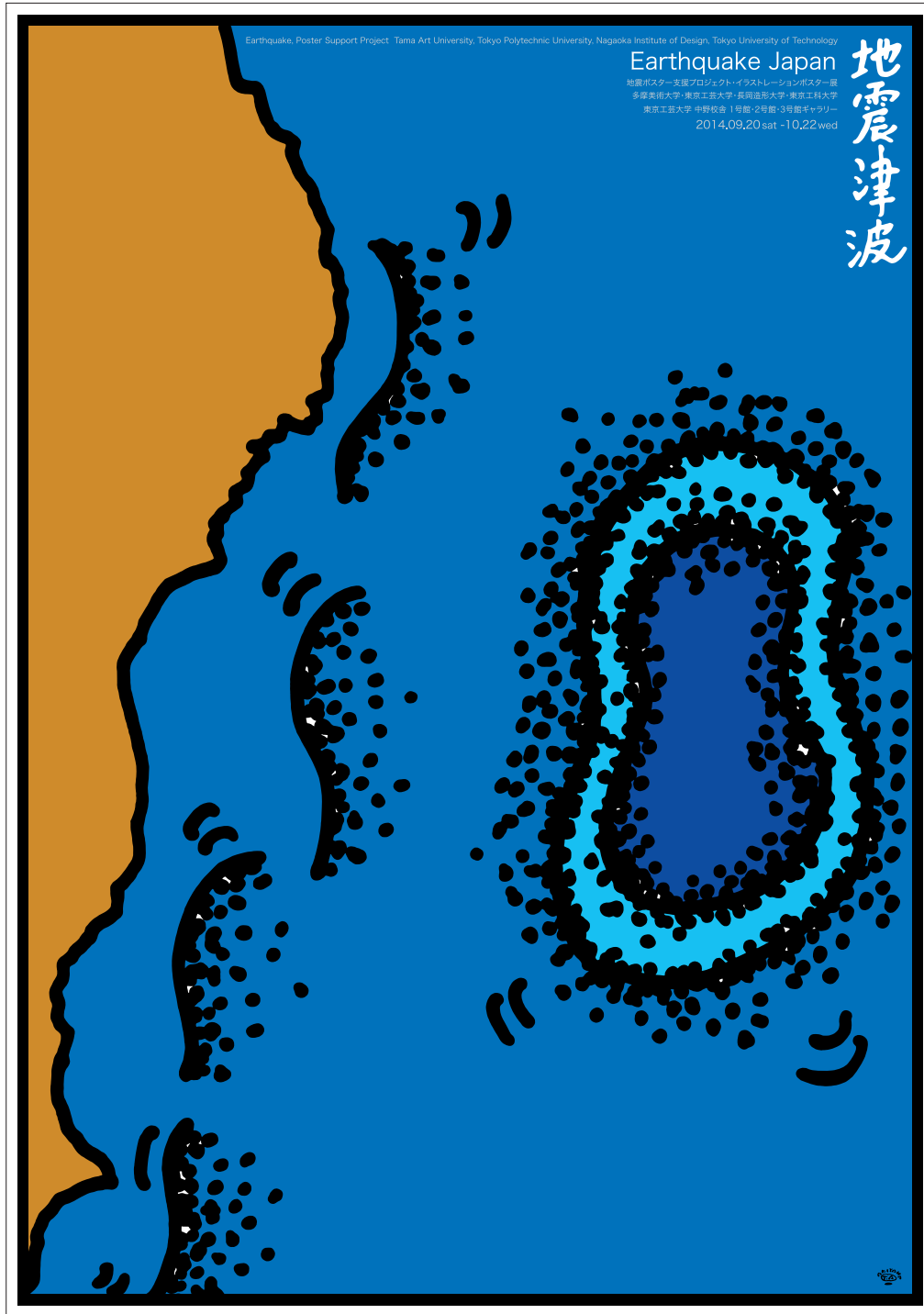
[Title] ----- 6. Message Illustration Poster in Nagaoka
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2014
 [Client] ----- 秋山孝ポスター美術館長岡 (APM)
 [Category] ----- Education

[Idea] ----- 秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) で開催される6回目となる展覧会、多摩美術大学・大学院生による「メッセージ・イラストレーション・ポスター展」だ。継続は、かならず魅力的な発見がある。思考形成にはそれが必要不可欠だ。今回のポスターデザインのイラストレーションは、天地創造から最後の審判までの7期の世界史を書いたドイツの医者ハルトマン・シェーデル著「ニュルンベルグ世界年代記」(1493年)からヒントを得た。男がひっくり返った、その足の裏からのメッセージだ。なんとも不思議な感じがする。言葉では言えない所からでも聞こえてくる言葉、その真実のあるメッセージをぼくたちは、読み取り表現できる能力をもっている。



[Title] ----- 地震津波 - Earthquake Japan
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2014
 [Client] ----- 地震ポスター支援プロジェクト
 [Category] ----- Social, Education

[Idea] ----- 地震ポスター支援プロジェクト・イラストレーションポスター展は、2014年9月20日から10月22日まで東京工芸大学中野校舎で開催され、今年で11年目を迎えた。特別講義・合同講習会も行なわれた。いつも過去を振り返って未来を予測し、それらの記録をポスターの中にメッセージとして発信している。多摩美術大学・東京工芸大学・長岡造形大学・東京工科大学と4大学の共同プロジェクトへと発展した。ポスターは、地震の揺れと津波のパワーを表したく、水の色に茶色を使い、建物を鮮やかなイエロー、空をさわやかなブルーで配色した。崩れ落ちる建築の弱い構造も、このデザインには重要なエレメントとなっている。



[Title] ----- 地震津波 - Earthquake Japan
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2014
[Client] ----- 地震津波支援プロジェクト
[Category] ----- Social, Education

[Idea] ----- 地震津波支援プロジェクト・イラストレーションポスター展は、今年で11年目を迎えた。いつも過去を振り返って未来を予測し、それらの記録をポスターの中にメッセージとして発信している。多摩美術大学・東京工芸大学・長岡造形大学・東京工科大学と4大学の共同プロジェクトへと発展した。ポスターは、地震の震源地の海域での現象をデザインした。その場所は、断層のずれによって一瞬水位が上がり、その後山のように隆起し津波となり押し寄せるダイナミックな自然現象を俯瞰した状態を抽象的に描いたものである。誰もが見たことのない想像の世界をビジュアル化した。その現象は自然のどうすることもできないエネルギーとなる。



[Title] ----- 秋山孝 in チェンマイ 展
[Size] ----- 728 x 515 mm (B2)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2014
[Client] ----- Chaing Mai University
[Category] ----- Culture

[Idea] ----- タイでの個展は2回目で、2014年9月10日から28日まで、チェンマイ大学美術館で「Takashi Akiyama in Chiang Mai」展を開催した。前回は2009年バンコクのタイランド・ノウレッジセンターで「Takashi Akiyama in Bangkok」だった。タイは第二次世界大戦の時期を除いて戦前・戦後のバリエーションで活動した日本の初期を代表するポスターデザイナー、ムネ・サトミが長く滞在し、創作活動を行った場所でもある。チェンマイは、タイ第2の都市であり「北方のバラ」とも称される美しい古都である。ポスターは、イーペン祭りのコムローイ(熱気球)を空にあげるロマンティックな儀式があり、そこに神である象がポスター塔を抱えて登場する姿をデザインした。



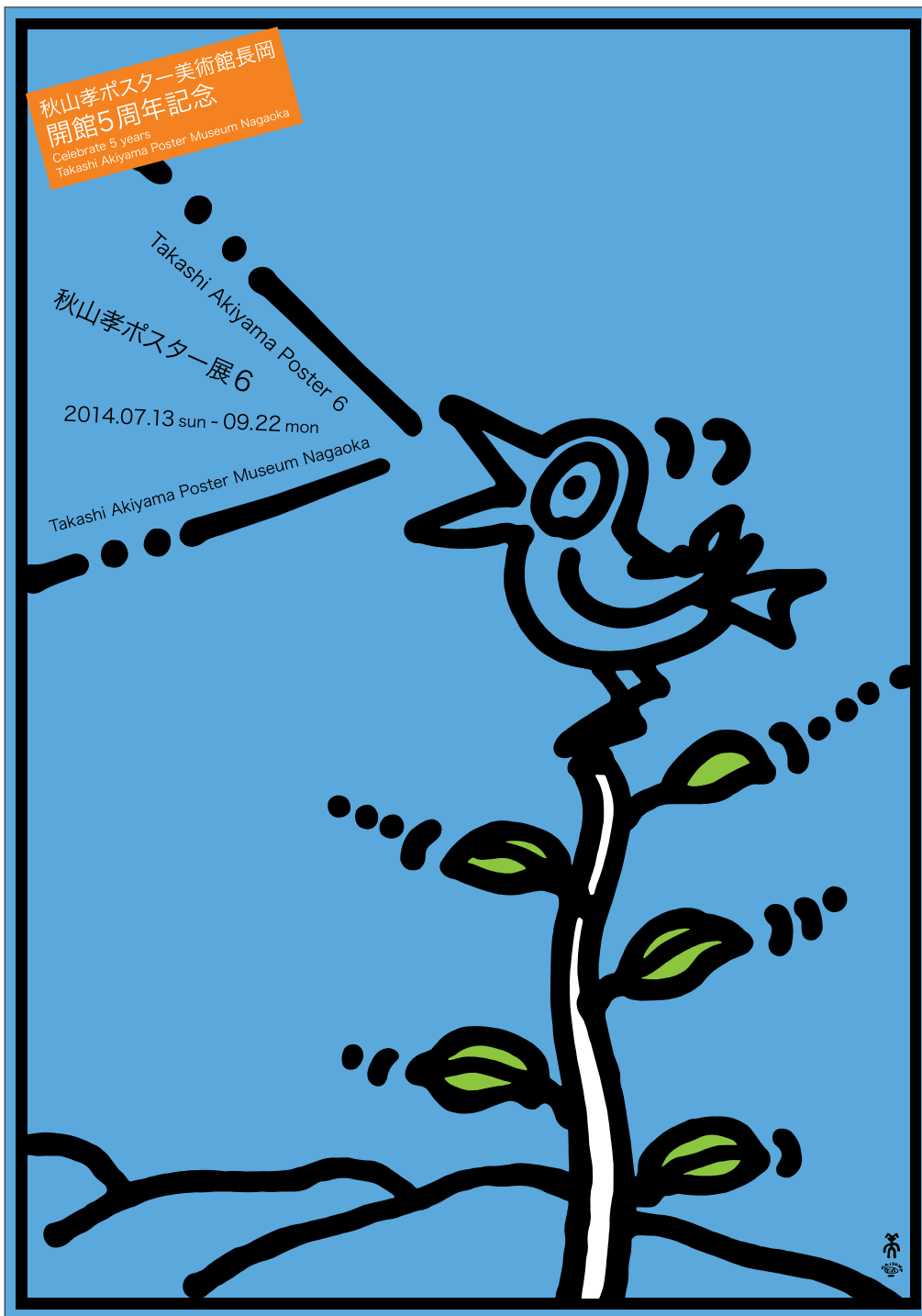
[Title] ----- 12. Message Illustration Poster 2014
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2014
[Client] ----- 多摩美術大学イラストレーションスタディーズ
[Category] ----- Education

[Idea] ----- 「第12回メッセージ・イラストレーションポスター展」は、2014年9月6日から18日まで多摩美術大学デザイン棟ギャラリーで開催された。ぼくたちは絶えず新鮮で魅力的なイラストレーションを描こうと努力している。それは創作者の営みの基本的な感情だ。目を皿にして、人が見落とした自然の出来事のなかに何かを発見する。あまりにも普通過ぎて誰もか過ぎ去ってしまうような微かな風景だったりする。今回のデザインに使用したイラストレーションは本当に小さな魚の集団で、どここの川であっても見るすることができる。その魅力をシルエットだけで細部を描かずに、ベタ面を活かし描いた。ちょっとした儂い一場面だ。



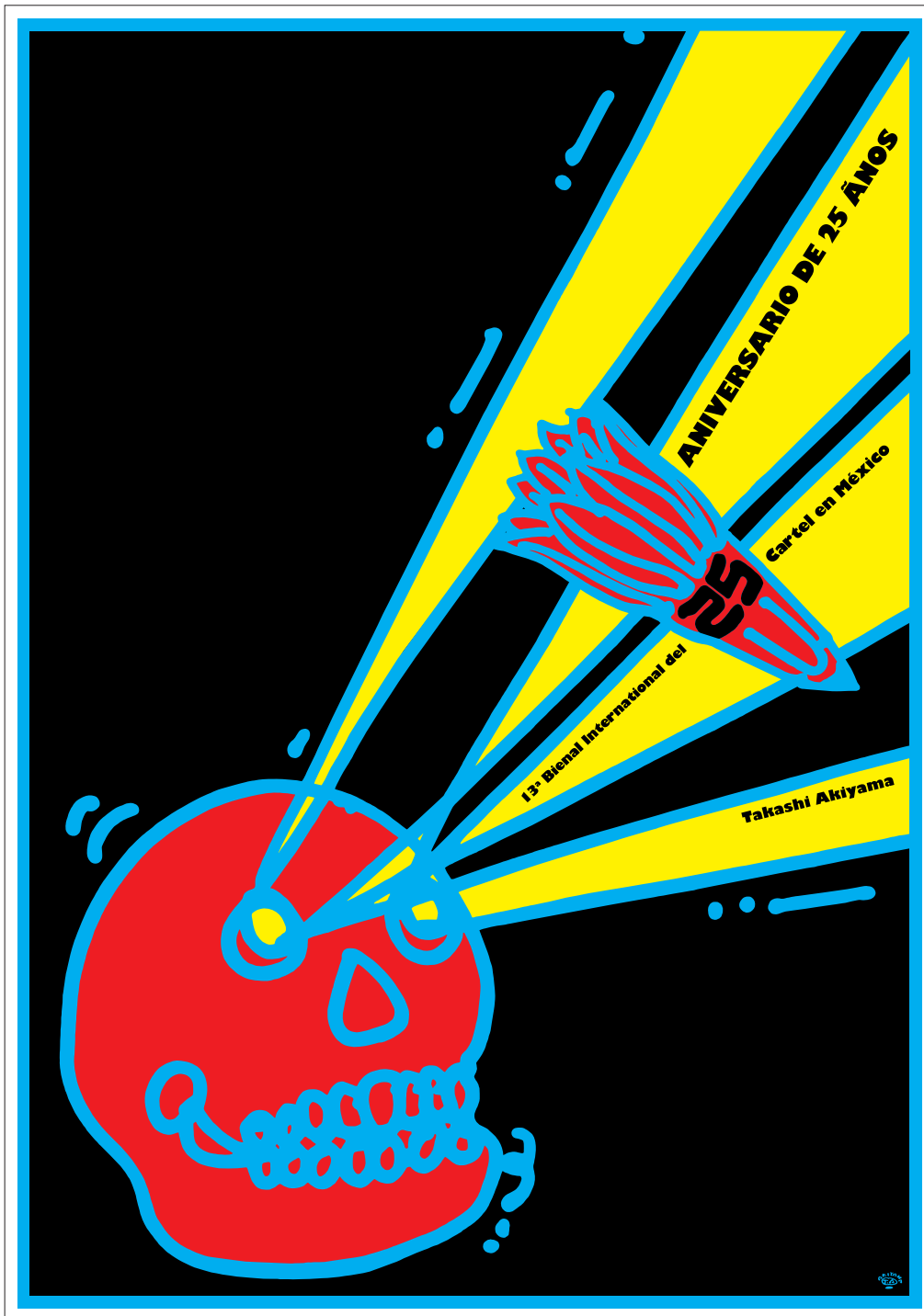
[Title] ----- Student Conference 2014
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2014
 [Client] ----- 多摩美術大学イラストレーションスタディーズ
 [Category] ----- Education

[Idea] ----- 多摩美術大学グラフィックデザイン学科イラストレーションスタディーズ「スチューデント会議」は、16回目を迎えた。イラストレーション学研究の幅を広げ、お互いの考え方を認識し、問題点を浮かび上がらせ、概念を変えていく力になることを目的としている。告知ポスターのデザインは牛を描いた。ぼくたちは表現における神秘性や魅力を見出すために様々なイラストレーションを描いてきた。ここに響く図像の発見のためにスケッチを怠ってはならない。いつも身の回りの些細な出来事から見つけ出すワンカットだ。今回のイラストレーションは「牛の目にも涙、牛の口にもよだれ」生命力が吹き出るようなシーンを描いた。



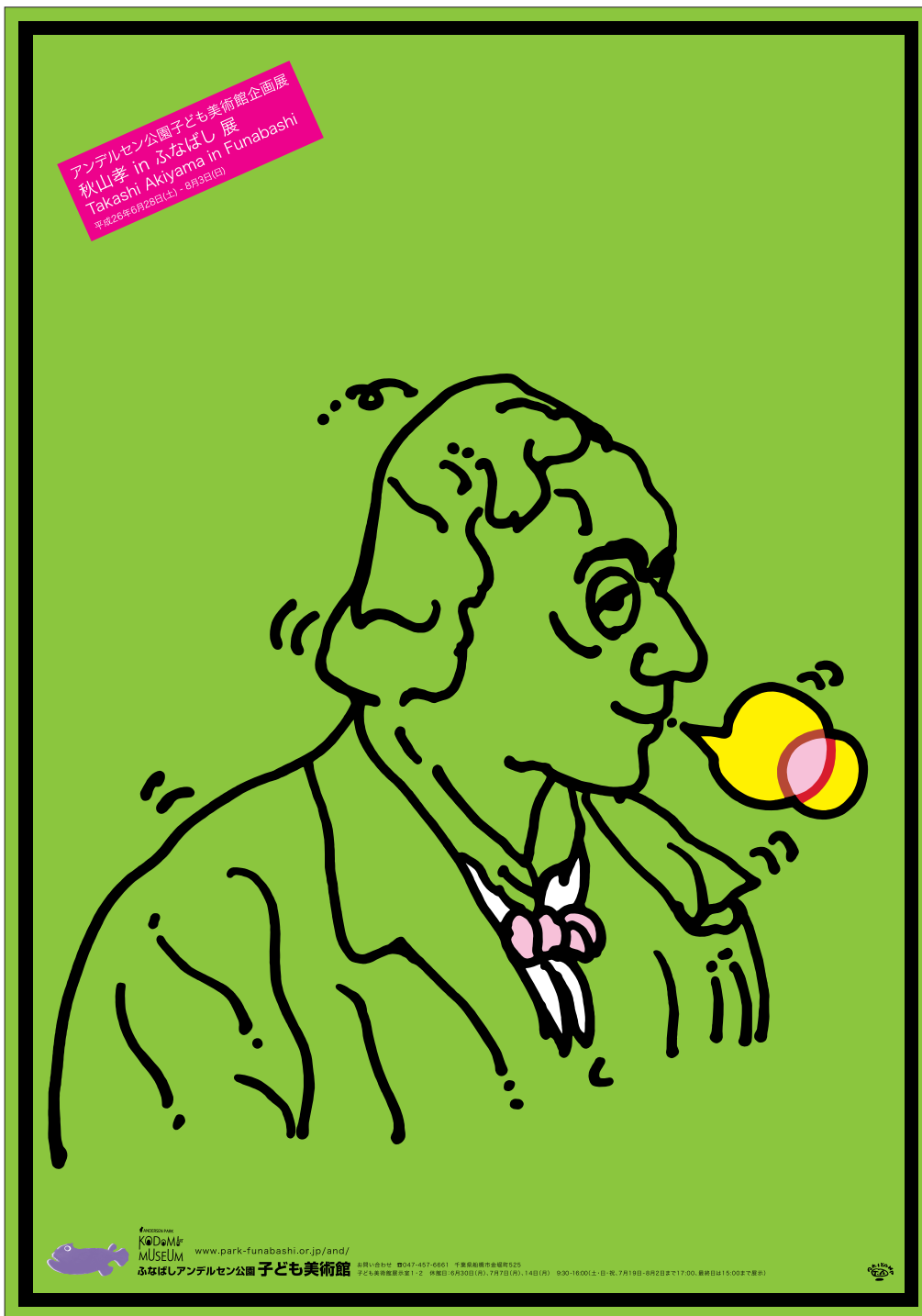
[Title] ----- 開館5周年記念・秋山孝ポスター展6
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2014
 [Client] ----- 秋山孝ポスター美術館長岡
 [Category] ----- Culture

[Idea] ----- 秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) は、2014年7月12日で5周年を迎えた。これを記念して秋山孝ポスター展を7月13日から9月22日まで開催した。また、もうひとつの新企画として、昨年に完成したAPM蔵に特別展として学生時代の習作を展示した。5年間の美術館活動の節目として振り返ると16回のAPM企画展、24回の美術館大学、27回の課外授業、6回のワークショップ、計73回のイベントを開催してきた。来館者は市民にささえられ7,053名 (6月15日現在) という小さな個人美術館としては良い結果だった。ポスターデザインは、一本の植物に5枚の葉 (5年) がやっとな芽吹いた所に、小鳥がとまり囀っている。その美しい響きは、未来を予感させているように思われる。祝福に違いない。



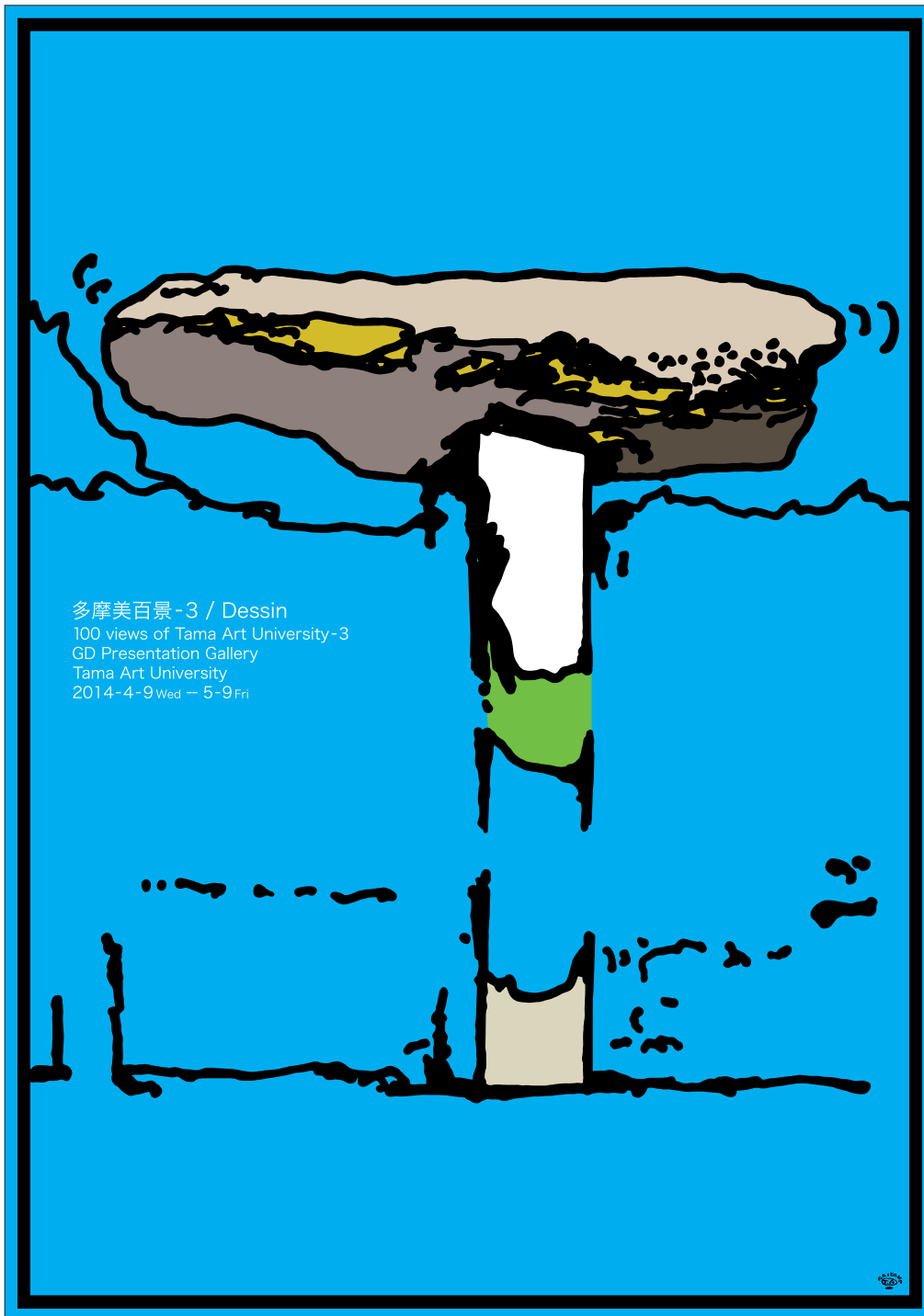
[Title] ----- 25周年記念「第13回メキシコ国際ポスタービエンナーレ」
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2014
 [Client] ----- メキシコ国際ポスタービエンナーレ組織委員会
 [Category] ----- Culture

[Idea] ----- メキシコ国際ポスタービエンナーレ組織委員会の委員長、ハビエル・ベルムデス (Xavier Bermudez)から25周年記念「第13回メキシコ国際ポスタービエンナーレ」のポスターデザインの依頼を受けた。ぼくは、1992年、第2回ビエンナーレで栄誉賞を受賞してから現在まで長い付き合いをしている。そのおかげでメキシコに出かけることが多く個展、審査員や講演などを行って来た。メキシコの友人たちと親交を深め芸術や文化に触れラテンアメリカの虜になった。今回のポスターデザインは、メキシコ、ラテンアメリカのセンスと色彩を遺憾なくはっきることができたと信じている。祖先のガイコツを身近に飾る習慣を持つ死者の祭りをデザインの中に取り入れた。おおらかさがありメキシコを現している。



[Title] ----- 秋山孝 in ふなばし 展
 [Size] ----- 841 x 594 mm (A1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2014
 [Client] ----- 財団法人船橋市公園協会
 [Category] ----- Culture

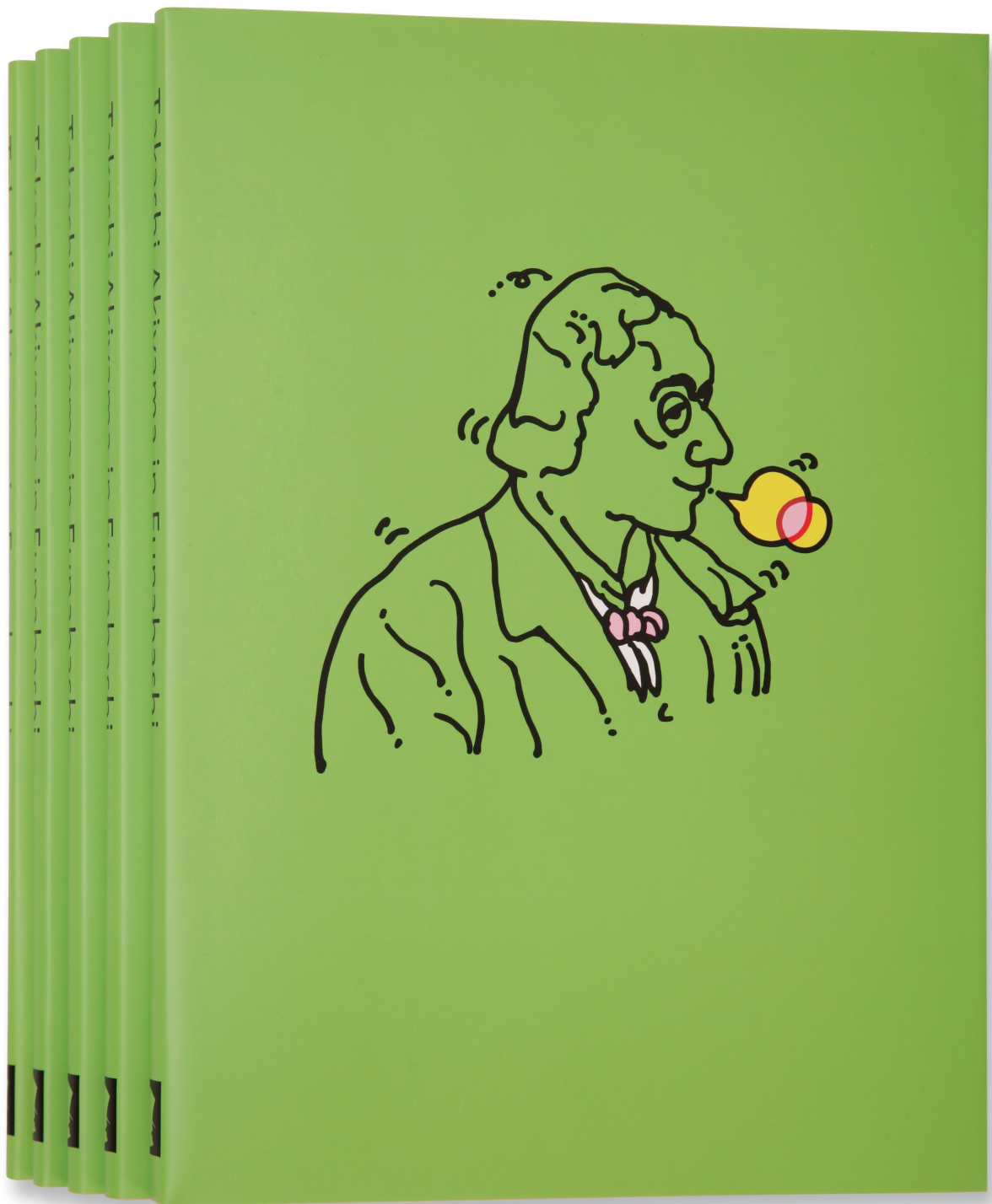
[Idea] ----- 1987年11月に船橋市北部に「ワンパク王国」が開園してからアンデルセン公園、海浜公園などの施設の情報発信としてパンフレット、ポスター、小冊子、チラシ、グッズ、カタログなどを制作し続けてきた。その全貌をデザインという視点から俯瞰する展覧会だ。コンセプトは子供の成長に必要な「創造的遊び」「安定した家族」「安心、安全な場(施設)」「心豊かになる自然」を提供する公益財団法人船橋市公園協会のデザインだ。これらはぼくにとって一貫した社会貢献デザインといっても過言ではない。告知ポスターデザインは、アンデルセンの肖像を描いたものだ。天才の口元からさざやかされる声「無上のよろこび」の吹き出しを表している。



[Title] ----- 多摩美百景 - 3 / Dessin
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2014
 [Client] ----- 多摩美術大学デッサンプロジェクト
 [Category] ----- Education

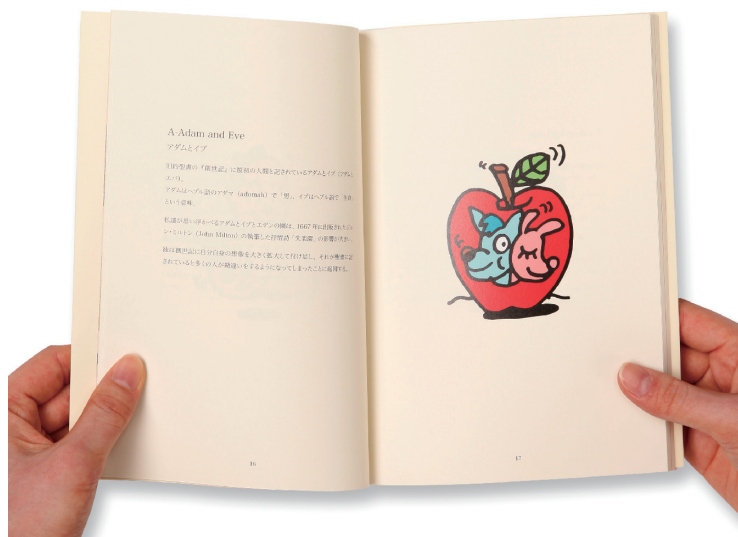
[Idea] ----- 2014年4月4日から5月9日まで多摩美術大学デザイン棟プレゼンテーションルームで「多摩美百景-3/Dessin」展が開催された。グラフィックデザイン学科の基礎教育デッサン(1,2学年)の教育成果の検証をする展示だ。1993年から始まり22年目を迎えた。今回の展覧会告知ポスターデザインは、多摩美術大学のキャンパス内には、あちらこちらにその時代を作った大学の卒業生や教員らの名作が配置されている。キャンパス内にある関根伸夫「空相」のある風景を「多摩美百景」のモチーフに選んだ。まるで巨大な岩が空中に浮遊しているかのように見える不思議な風景だ。青空のブルーを画面一面に配し空間の広がりを実現した。







「秋山孝 in ふなばし 展」展示会場風景

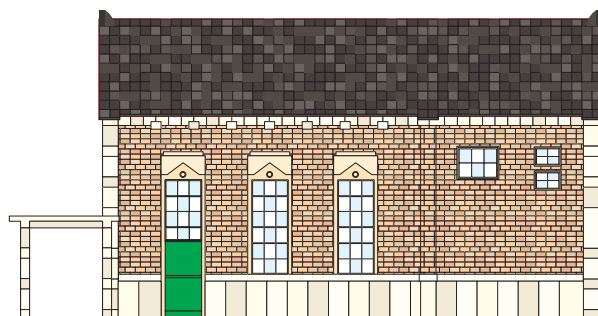








第28回APM課外授業後 集合写真 2014年7月13日



2015年「秋山孝ポスター美術館長岡」企画展・美術館大学のご案内



- 第19回企画展「イラストレーション・ダイアログ」展 6年間の試み / 4月18日(土)～6月29日(月)
 - ・第27回美術館大学「『イラストレーション・ダイアログ』について1」
講師：高橋庸平、伊藤彰剛、末房志野、高橋真理、秋山孝 / 4月18日(土) pm3:00～4:30
 - ・第28回美術館大学「『イラストレーション・ダイアログ』について2」
講師：高橋庸平、小川雄太郎、御法川哲郎、千田昇平、秋山孝 / 5月30日(土) pm3:00～4:30
- 第20回企画展 開館6周年記念「秋山孝ポスター展7」 / 7月11日(土)～9月26日(土)
 - ・第29回美術館大学 / 7月11日(土) pm3:00～4:30
 - ・第30回美術館大学 / 8月5日(水) pm3:00～4:30
- 第21回企画展「日本ブックデザイン賞2015」 / 9月6日(日)～9月26日(土)
 - ・日本ブックデザイン賞2015 授賞式 / 9月12日(土)
- 第22回企画展「メッセージイラストレーションポスター展7」 / 10月3日(土)～10月31日(土)
 - ・第31回美術館大学 / 10月3日(土) pm3:00～4:30

- ・開館時間：午前11時～午後5時まで(入館は閉館の30分前まで)
- ・休館日：火曜日
- ・開館期間：4月～10月 / 閉館期間：11月～3月
- ・入館料：無料

APM17
Poster-6 2015-2014 Takashi Akiyama

発行日：2015年4月1日
 発行者：秋山孝
 発行所：秋山孝ポスター美術館長岡
 〒940-1106 新潟県長岡市宮内 2-10-8
 Tel,Fax：0258-39-1233
 E-mail：info@apm-nagaoka.com
 URL：http://apm-nagaoka.com

編集 / デザイン：秋山孝、御法川哲郎
 印刷所：東銀座印刷出版株式会社
 ※無断で複写、複製および使用を禁ず。

・中綴じ製本 / A4(天地297×左右210mm)
 ・表紙・本文：ライトスタッフGA菊Y93.5

APM17
Poster-6 2015-2014 Takashi Akiyama

Date of issue：2015.04.01
 Publisher：Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka
 2-10-8 Miyauchi Nagaoka-city Niigata 940-1106 Japan
 Tel,Fax：0258-39-1233
 E-mail：info@apm-nagaoka.com
 URL：http://apm-nagaoka.com

Edit / Design：Takashi Akiyama, Tetsuro Minorikawa
 Printed in Higashi-Ginza Insatsu-Shuppan Inc.

© 2015 Takashi Akiyama, Published in Japan by Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka.

All right reserved.No part of this book may be reproduced in any form or by any means, electronic or mechanical,including photocopying or recording, or by any information storage and system,without permission in writing from the publisher.